

女川原子力発電所2号機の安全性に関する検討会 論点一覧 : 第14回で検討する項目)

※水色の行は説明済を示し、黄色の行は一部説明済を示す。

分類	項目(論点)	意見No.	質問・意見・要望等	質問者	検討会における説明時期 (○:説明済 △:途中経過等を適宜説明)														説明状況	
					第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回			
1. 健全性確認	(3)記録不備	29	発電所内、電力会社内の確認体制、確認状況等について、保安規定違反「監視」扱いとなった点検記録不備の問題との関連も含めて説明してもらいたい。 【関連質問】今回の不備等について、なぜ保安検査まで気づかなかったのか問題である。協力会社の承認の段階、電力の承認の段階で誰も気づかなかったのかについても、分析が必要。(第3回)	首藤委員 兼本委員		△	○											説明済		
		30	品質保証体制が劣化していないか、保安院から、2006年7月に女川3号機定期安全管理審査でC評定を受け、その後体制の一新を図り(A評定)、安全管理やヒューマンエラーの軽減に努めてきたと思われる。しかし規制庁から、今回の保安規定点検報告に対して記入ミスの指摘を受けている。本来、このような問題では、絶えず点検・改善がなされなければならないものであるはずである。またこれにも関係するが、社員、協力企業や下請け企業社員・作業員全ての労働安全衛生条件を適切に守る仕組みに劣化はないか、無理な作業スケジュールを強いることはないか説明してもらいたい。	長谷川委員		△	○											説明済		
		4	女川原子力発電所は、東日本大震災で津波の影響を受けているが、その被害過程の把握とその後の対応は妥当かどうかについて確認したい。(本項目では、下線部が対象) 【関連質問】震災時に常時観測用潮位計が欠測した原因を踏まえたように対策したか説明してほしい。また、測定範囲は、防潮堤高さ(29m)まで測定できるか説明してほしい。(第2回) 【関連質問】今回観測された津波の周期は50分前後で地形等の固有周期とは合致せずとあるが、実際に固有周期は何分であるのかを示して欲しい。(50分ではないことをしっかり示していただきたい)また、スペクトル解析において、短い成分で9分というのがあるが、これが固有周期とどう対応なのかを解析していただきたい。(第2回) 【関連質問】津波再現性解析の妥当性根拠としている痕跡高の調査範囲や地点数について具体的に示してほしい。(第2回) 【関連質問】資料3のP16の再現性について、時間領域の波形だけでなく、周波数領域としてどうなのかを示していただきたい。(第2回)	今村委員 今村委員 今村委員 今村委員 鈴木委員	○													説明済		
	(5)設備被害	1	1号機の天井クレーン走行部の損傷に関して、仮に緊急的に原子炉の蓋を開けて燃料取り出しをする必要性が生じていた場合、機能は担保できていたのか。 【関連質問】1号機の天井クレーン走行部の軸受は、2、3号に比べて耐震性が弱く、壊れることが分かっていたのではないかと、この点についてしっかりと答えしてほしい。(第4回) 【関連質問】想定される地震動が入ったときに、どのくらい建屋が揺れて、それがガーターにどう伝わって、そしてそれがクレーンの機能に対してどのような影響を与えるのか示してほしい。(第4回)	岩崎委員 岩崎委員 鈴木委員			△													
		3	軽微な被害の評価について、個々の設備についての評価が軽微となったものでも、被害想定ストーリーから見ると重大な被害に結び付く恐れのある被害もあろう。総合システムとしての安全性確保の視点からの評価も実施してほしい。	鈴木委員				○											説明済	
	(6)ソフト面の対応	11	被災した当時の運転当直の対応状況(どのように状況を把握し、どう対処したか)について説明してもらいたい。	首藤委員	○														説明済	
		12	被災した当時の発電所対策本部の対応状況(どのように状況を把握し、どう対処したか)について説明してもらいたい。具体的には、例えば次のような内容等 ・地震による被害状況の把握 ・津波警報発令への対応状況(含む、構内人員の安全確保、退避行動) ・対外対応の状況(例:地元や町、国等への情報連絡):地震直後と津波来襲後では異なると思われるので、その違いも含めて 【関連質問】3.11時の対応状況の時系列については、今後さまざまな対応をするときの基礎になることから、もっと時間を軸で時間軸を合わせるのか詳しく示してほしい。(緊対室と国・自治体との連絡体制、現場確認状況、外部(報道機関)への情報発信、各対応要員の人数等)(第2回) 【関連質問】2号の浸水事象について、漏れ水の放射能濃度の測定方法および処理方法の判断をどのように行ったのか具体的に教えてほしい。(第2回) 【関連質問】本店対策本部の本部長の代行順位について、何番目まで決めているのか。また、どのような考え方で決めているのか。(第5回)	首藤委員 長谷川委員 源栄委員 今村委員 首藤委員 首藤委員 関根委員 若林委員	○			○										説明済		
		13	震災時の対応の中で、指揮命令系統に問題はなかったのか、改善すべき点はあるのか、等について説明してもらいたい。	長谷川委員	○															説明済
		14	発電所と東北電力本社との情報連絡の状況、役割分担について説明してもらいたい。	首藤委員	○															説明済
		15	上記の各対応(No.11,12,14)から得られた教訓・課題、それら課題・教訓への対応状況について説明してもらいたい。 【関連質問】総合防災ネットワークについて、中継基地とか、どこがクリティカルパスになるのかということ等を詳細に説明して欲しい。(計画倒れにならないよう)(第2回)	首藤委員 兼本委員	○				○											説明済
		31	3.11地震での被害調査結果を詳しく説明してもらいたい。また、健全性診断法で予想した損傷レベルとの被害調査結果との対応関係を説明してもらいたい。	栗田委員															△	
		32	東日本大震災によって、原子炉建屋・建造物のひび割れ、アンカーの変形などの発生・修繕・交換状況は、それらは耐震・耐津波安全上問題ないか。また今後の地震によって進展する可能性はどのように評価されるか説明してもらいたい。	長谷川委員															△	
	33	地震応答解析と被害調査の関係がどうであったのか説明してもらいたい。 【関連質問】燃料プールへの塗膜片落下事象があったことから、燃料プール上部からの落下物に対する対策を検討して欲しい。(第5回) 【関連質問】建屋の剛性低下に係る経年的変化の分析結果について説明していただきたい。(第11回)	栗田委員 源栄委員 兼本委員															△		
		34	「地震応答解析結果に基づく構造評価(第1回検討会の資料-4 p.15)において、「裕度の有無」を判定する判断基準と、その背景にある論理(そのような判断基準とした根拠となる考え方)について説明してもらいたい。	首藤委員																
35	被害を受けた設備は、ダメージが累積してきている。例えば、8、16地震で被害を受けた設備は、ダメージがあればそのダメージに加え、3、11地震時のダメージも累積されている。それをどのように定量化して評価しているのか説明してもらいたい。	源栄委員																		
36	健全性確認においては、観測された地震動を最も再現できるようなモデル(パラメータ)による評価結果を基に、評価・点検を実施するのか。	栗田委員															△			
37	設備や建屋で、耐震クラスが低くても、それらの損傷が、耐震クラスが上位のものに作用に影響を与えることが予想される場合、それらの耐震解析評価(地震応答スペクトル評価)を行っているか説明してもらいたい。	長谷川委員																		
38	地震観測記録として、建物は確認されているが、重要機器の観測記録はあるのか説明してもらいたい。	源栄委員																		
39	地震による評価に関して、応答スペクトルが機器系に与える影響をどのように評価しているのか。地震動の影響がどのような形で、フロアレスポンスが具体的にどのように機器、配管、設備に影響するのかということとどのように評価しているのか説明してもらいたい。	鈴木委員																		
40	これまでに女川2号機(や1、3号機)で起こったシュラウド、再循環系配管、出入りロズル配管などのひび割れ、配管系の減肉はどのように修理・管理されてきているか。それらは東日本大震災で影響を受けていないか。また新たなひび割れ、異常な減肉などがないか。これらに関してどのような検査を行っているかについて説明してもらいたい。	長谷川委員																		
62	重油タンクの倒壊について、この被災状況、今後の対応については了解したが、その他の液体貯槽について、対津波、対地震対策は新たな検討がなされたのか伺いたい。特に、機器系について耐震重要度別に軽微な被害を含めて被害(無被害)状況と今後への教訓について説明してもらいたい。	鈴木委員																		

女川原子力発電所2号機の安全性に関する検討会 論点一覧 (第14回で検討する項目)

※水色の行は説明済を示し、黄色の行は一部説明済を示す。

分類	項目(論点)	意見No.	質問・意見・要望等	質問者	検討会における説明時期 (○:説明済 △:途中経過等を適宜説明)														説明状況		
					第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回				
2. 適合性審査申請	(6)外部電源	68	ディーゼル発電機やガスタービン発電機が設置・拡充されたと思われるが、松島幹線などの送電設備が重要なのは当然のことと思う。この観点からの対策、例えば送電鉄塔(東日本大震災で福島第一の鉄塔が損壊)の地盤補強などの対策は必要ないか説明してもらいたい。 【関連質問】震災時の外部電源の復旧について、翌日復旧した回線、数日後に復旧した回線、半月後に復旧した回線と、復旧が3段階になっているが、この理由について纏めて欲しい。(第5回)	長谷川委員 源栄委員																	
		(7)モニタリング設備等	82	放射線の監視体制の強化、情報提供のあり方等について説明してもらいたい。	関根委員													○		説明済	
	(8)重大事故対策	56	原子力発電所という重要な施設に関しては、現在の科学で予測できるものから、その確率を導き出して設計していく訳であるが、リスクマネジメントという観点で、その確率を超えた場合はどういう対策をするのか、地震発生から住民の避難までのシナリオを描いておいて欲しい。また、予測できない中で余裕をもって作っていく時の設計者の考えたロジックを、県民にも分かるように説明してもらいたい。	栗田委員																	
		67	電源系に関して、DGの冷却方式や分電盤がどこで一緒になっているのかといった共通原因故障について、どのように分析を進めているのか説明してもらいたい。また、電源系以外でも、例えば、地震による火災と溢水の同時発生のような共通原因故障もありうるので、個別シナリオでの対策やリスク評価以外に、共通原因故障の取り扱いの考え方を説明してもらいたい。	兼本委員																	
		69	シナリオに基づいた重大事故のリスク評価(発生確率、被害の算定等)について詳しく説明してもらいたい。 【関連質問】理論的に考え得るすべての事故シナリオを対象としているとのことだが、全てのシナリオを想定するのは困難である。抜け落ちをチェックする方策はあるのか。(第3回)	栗田委員 兼本委員																説明済	
		70	PSA(確率論安全評価)導入による女川2号機の安全性はどのように向上するか、特に次の点から説明してもらいたい。 (i) 国内外の原子力発電炉と比べて女川2号機の安全性(炉心損傷頻度などのリスクに関して)は最高レベルにあるか? またにBWR5改良型/Mark-1原子炉としてどうか。 (ii) 炉心損傷頻度などのリスク評価の結果は、設備・施設の改善、運転管理、万一の事故対応策などにどのように生かされるか。 (iii) 特に、地震PSA、津波PSAによるリスク解析結果はどうか。	長谷川委員																説明済	
		71	PRAの解析手法、解析結果について説明すること。また、手法、使用データの信頼性について説明してもらいたい。 【関連質問】PRA結果の数値は、どのくらい不確実さ(余裕)を持っているのか定量的に教えて欲しい。(第3回) 【関連質問】対策を並列化(多重化・多様化)した時の確率論的リスク評価は行っているのか。(第3回)	若林委員 源栄委員																説明済	
		72	リスクを低減するために実施した対策について、対策を実施することでリスクがどの程度低減されたかを説明してもらいたい。また、リスクが評価できない重大事故の対策については、対策についての考え方を説明してもらいたい。	栗田委員																	説明済
		73	重大事故対策の有効性評価において、シナリオに対して対策が働かなかった場合(例えばガスタービン発電機で給電等が働かない場合)について、必要なPRA解析も含めて説明してもらいたい。	若林委員																	説明済
		74	対策では防御できないことが起こった場合の対応を詳しく説明してもらいたい。 【関連質問】事故が起きた後の復旧に向けた対応について、訓練等も含めて一度説明いただきたい。(第13回)	栗田委員 兼本委員																	
		75	スクラム失敗事故への備えについて確認したい。	岩崎委員																	
		76	水素発生防止策について確認したい。	岩崎委員																	
		77	格納容器フィルターベント設備の性能および運用等について説明すること。	自治体																	
		78	炉心溶融対策について説明すること。	自治体																	
		79	事故時の公衆被ばく状況について確認したい。	岩崎委員																	説明済
		80	避難計画のために想定すべき事故事象の妥当性について確認したい。	岩崎委員																	
		81	地震・津波などにより、原子力発電所施設で重大な事故が起こった場合、事故がどのように進展すると想定し、どのような対応をとることになっているのかを詳しく説明してもらいたい。	栗田委員																	説明済
		(9)事故対応の基盤整備	制御室		(新規制基準適合性審査申請に基づき検討)																
			緊急時対策所		(新規制基準適合性審査申請に基づき検討) 【関連質問】緊急時対策所に関して、免震構造、耐震構造、あるいはその他の構造も含めて、その優劣をどの様に評価したのか説明して欲しい。(第10回)	首藤委員															
3. その他	(1)安全対策全般(自主対策)	15(再掲)	No.11,12,14から得られた教訓・課題、それら課題・教訓への対応状況について説明してもらいたい。	首藤委員															説明済		
		42	米国スリーマイル島(TMI)原発事故(1979年3月)や仏国ル・ブライエ原発事故(河口水位の上昇による溢水:1999年)などの外国の原発事故、中越沖地震(2007年7月)による柏崎・刈羽原発の被害、そして東日本大震災による原発事故・被害(福島第一、第二、東海)などからどのような教訓を得て(具体的に)、女川原発の安全性向上に役立っているか、これに関し、女川原発で計画されている免震重要棟は十分な設備と機能を持っているか、設置場所は適切かについて説明してもらいたい。 【関連質問】溢水対策に関して、海外の過去の事例など、どのように反映しているか、説明すること。(第2回)	長谷川委員 兼本委員															説明済		
		43	津波対策として、余裕をもった防潮堤を設置している例のように、規制要求以外の自主的対策の内容。(安全性の確保には、与えられた規制を守るのは当然であるが、それ以外に安全を守るための工夫をするプロセスが大事なので、その状況を説明してもらいたい。)	兼本委員																	
		52	地震・津波発生後のリアルタイムの観測データは、重要であり、このような機能を整備している(する予定)か。また、オペレーションに活かしているかについて確認したい。	今村委員																説明済	
	61	今回の被災のみではなく、東電の柏崎刈羽発電所の被害など過去の地震被害の教訓を受けて被害想定をどのように想定して今後の地震対策のシナリオを作成したかを伺いたい。	鈴木委員																		
	(2)原子力防災	84	非常用電源の接続訓練は従来から実施していたのか。本来実施して然るべき訓練をしっかりと実施していたのかどうか、整理して説明してもらいたい。(3.11後の訓練における改善点等についても確認したい。)	長谷川委員															説明済		
	(3)公開実績	85	地震後の健全性評価、改良対策等で、学会のような第三者の評価を受ける場所での公開実績を説明してもらいたい。	兼本委員																	
	(4)その他	83	テロ対策について説明してもらいたい。 【関連質問】サイバーテロや物理的なテロに対する検討状況について、検討体制も含めて説明の機会を作っていただきたい。(第8回)	若林委員 兼本委員																	